



江戸川区立葛西第二中学校 学校だより

芙蓉

令和6年12月17日発行
第23号「今年の漢字・ボランティア活動号」
発行人 校長 植木 清

教育目標

- ・自ら進んで学ぶ生徒になろう
- ・健康でたくましい生徒になろう

- ・あたたかい豊かな心の生徒になろう

今年の世相を表す漢字一文字決定 葛二中生予想「災」第2位



学校だより「芙蓉」22号にも記載しましたが、12月12日（いいじ、いちじ）は漢字の日です。京都の清水寺（きよみずでら）の舞台で今年の漢字が発表されました。あらかじめ葛二中生に予想してもらった「今年の漢字」（世相）の第1位は「災」でした。結果は「金」でした。日本漢字能力検定協会

のコメントでは、「2024年の第1位は、2000年、2012年、2016年、2021年に続き5回目となる「金」でした。今年パリ五輪の日本人選手や大谷翔平選手などの活躍による“光”の『金（キン）』だけでなく、政治の裏金問題、闇バイトによる強盗事件、止まらない物価高騰など“影”の『金（かね）』を理由にあげる人が多く見られました。」とのことでした。ところで、「闇」は12位、「高」は13位、「裏」は14位、「政」は15位でした。

私が「今年の漢字」を考えてもらったのは、生徒たちに世の中のことに目を向けてほしい、それについて意見をもってほしいという思いからです。このことは、これから生きていく若い世代にはとても大切なことだと思います。

順位	葛二中生	発表
1	災	金
2	闇	災
3	政	翔
4	震	震
5	高・変	新
6		選
7	金	変
8	裏	暑
9	新	楽
10	暑	米

令和5・6年度 東京都体育健康教育推進校の取り組み

東京都教育委員会より東京都体育健康教育推進校に指定され、2年間取り組みを行っています。その一環として、11月22日（金）に野球部・サッカー部・バスケットボール部・バレーボール部の生徒と国士舘大学の学生による部活動交流会を行いました。そこでは、技術指導だけでなく、質問や相談にも答えてくれました。生徒たちにとって、貴重で充実した時間となりました。生徒のアンケートで約8割の生徒が「とても参考になった」と答え、約2割が「参考になった」と答えていました。



【参加した生徒の感想（一部抜粋）】

- 運動や健康について、しっかり学べた。 ○ 自分ができるまで教えてくれて、成長できた。
- 優しく教えていただき、また明るく接していただき楽しかった。 ○ 一人一人に向き合ってくれた。
- わからないことやできないことを質問できてとても学びになった。
- バスケットでのドリブルのコツやディフェンスの姿勢を教えてもらって、とても参考になった。
- 野球でボールを投げるコツやシュートなど変化球を教えてもらいました。これからの試合で生かせるといいなと思います。
- 教え方がとてもわかりやすく、できなかったことができるようになった。教えてもらったことを意識しながら、これからの練習に生かしていきたい。

葛西二中 オフィシャルボランティア わんわん・ウォーキングパトロール隊

11月30日（土）に行われた第20回「わんわん・ウォーキングパトロール隊」ボランティア活動について、紹介します。

「わんわん・ウォーキングパトロール隊」は、宇喜田・小島地区自治連絡協議会が主催し、江戸川区、葛西警察が協力し、普段の生活を有効利用しながら自分たちのまちを自分たちの手で守るという目的のもと実施しています。地域の防犯意識を高めるために中学生の参加依頼があり、本校からは19名が参加しました。犬を連れてのパトロール、自転車盗難防止啓発活動、パトカーや白バイ乗車体験などが行われました。

葛西第二中学校では、プライド8「(7)自ら進んで行うボランティア活動」を掲げ、本校のボランティア活動を「葛西二中 オフィシャルボランティアプロジェクト」と名付け取り組んでいます。これまでも江戸川区や地域から依頼されたボランティア活動が多くありました。葛西地区自転車盗ゼロ作戦、中組町会主催 子と親のふれあいまつり、お背中流し隊、宇喜田小島地区運動会、葛西まつり、わんわん・ウォーキングパトロール隊などです。多くの生徒の参加に、感謝します。2月9日（日）にも「迷走クイズ&ニュースポーツ運営ボランティア」があります。また、校内では一昨年度まで落ち葉掃きボランティア活動を行っていました。今年度は、花いっぱい運動ボランティア活動を計画しています。生徒の皆さん、参加をお願いします。



七町・自治会合同防災訓練 地域が協力しともに考え行動する防災対策

11月23日（土）に第21回七町・自治会合同防災訓練が、第五葛西小学校の校庭・体育館で行われました。コロナ禍までは本校で実施していましたが、校舎改築のためしばらくは第五葛西小学校で行います。本校で実施していたときは、生徒もボランティアとして参加していました。

校庭では、初期消火訓練、起震車地震体験、応急救護体験（AED・包帯法）、煙ハウス体験、炊き出し訓練（豚汁）。体育館では、江戸川区役所危機管理室と葛西消防署の方による防災DVDの上映、災害時の心構えについての講話。大変、盛り沢山の内容でした。今年は、宇喜田六軒町自治会 会長 杉浦 修 様を実行本部長として、七つの町会・自治会が協力し実施されました。



私（校長）が参加してみて感じたことは、災害時に地域の方々や町会を超えて協力すること、助け合うことの大切さです。実際に本校や第五葛西小が避難所になったとき、毎年訓練を実施していることで、災害時にどのように準備し、どのように地域の方が動いたらよいか、確認できる機会となったと思います。災害は、いつ起きるかわかりません。夜中や休日だと学校の先生がいない中で、対応していかなければなりません。そのためにも、地域の方が率先して対応することは重要であり、必要なことでもあります。